



慶應義塾

杉並三田会



沖釣同好会

世話人 櫻井 薫 61経

「釣りを知らずに老いるなんて！」
ある先輩釣師の言葉です。
平成12年に沖釣り同好会がスタート。
会員、釣友が各自の体調に合わせて沖釣りを楽しんでいます。
年間8～10回の定期釣行の他に、気力、体力の合った仲間が月間2～3回平日に気楽な沖釣りを
行っております（別称老人と海の会）。
季節ごとに旬の美味しい魚を求めて釣人ならではの
の特権を満喫しております。
経験のない方も貸道具があり心配ご無用。
女性歓迎、船はトイレつきです。
体験釣行OK！！

7月17日 沖釣同好会 7月例会報告

毎年恒例の「キス釣と天ぷら船」に行きました。12名が立会川の大山丸に7:30、集合しました。猛暑を覚悟していましたが、幸いこの日は終日くもり空で気温も低めで助かりました。

1時間ほどで船はアクアライン下、木更津沖の釣り場に着き、待ちかねていた皆さん、一斉にキス釣り仕掛けを投入します。

早速Kさんにダブルでヒットが出ましたが、続きません、移動して再開するとポツポツアタリがきます。しかしいつものキス釣りのようには釣れません。前日までの大雨で海底が荒れたことが原因のようです。

釣果は、5~25匹でした。昼になり、天ぷらタイムです。船から見える景色と、風を感じながら食べる、エビ、イカ、アナゴ、キスなど、揚げたての天ぷらは格別でした。



9月4日 沖釣り同好会

良く釣れているという「太刀魚釣り」に出ました。12名が金澤漁港の忠彦丸に6:30、集合しました。この日は朝の内小雨で心配しましたが、終日天気良く、また波なく絶好の沖釣り日和でした。最初猿島付近ではじめました。水深40m前後の棚に仕掛けを落とし、細かくシャクリます。すぐ2本上がりました。60~70cmの銀色に輝く太刀魚です。その後、第二海保→走水と魚を探りながらの釣りです。魚が掛かると重みが伝わり、上げる途中でも引く手応えが楽しめます。バラシが多く釣果は伸びませんでした。全員型を見ることができました。釣果は1~7でした。走水では、38cmの大アジがゲストで釣れました。刺身に、塩焼きに、いただくのが楽しみになりました。



10月1日 沖釣り同好会



毎年この時期、剣崎沖に青物の大型、イナダ、ワラサが回遊してくるので、沖釣り同好会の有志の会として企画しています。ところが、当日まで、狙いの魚の釣果情報がほとんど入ってなく、10名の参加者は各自、自分の思惑の仕掛けを用意し、出船した。

船は間口港、孫武丸の大型船です。下浦沖の30m水深で、小型のアジが来たりして2時間ばかりした頃、左舷のオオドモに座っていた大西さんに、強い引き込みがありました。

サメか、ヒラメかと思ううちに、やっと赤い魚が

揚がって来ました。予想外の巨大な鯛でした。無事、魚がタモに収まって、ご本人、嬉しさが込上げてきたとか。

帰宅後の計測では、長さ63cm、重さ2, 8Kgのオスであったそうです。

また他に2名の方が、鯛を揚げました。その後、久里浜沖のアジ釣りに変更しました。順調に釣れ、アジの釣果は、6~28でした。船宿で美味しいうどんをご馳走になり、船宿名物の冷凍ダコを求めたりして、帰途に付きました。

3月16日 沖釣り同好会

今年、第1弾として、「太刀魚～ビシアジルー釣り」に行きました。船宿は鴨井大室港「五郎丸」にて、11名の参加です。

この日、快晴、べた凧、暖かく、絶好の釣り日和となりました。今回で世話人として多年活躍されてきた、白土さん、高橋さんが、退任となります。朝、いつもように釣行の注意点を、懇切丁寧な気配りでいただきました。本当にありがとうございました！お二人に、沖釣りの手ほどきを受けた会員は数知れずとなりました。

さて、8時頃久里浜沖の170Mの指示棚に仕掛けを落とすと、早々にアタリがあり、1m位の太刀魚が上がってきました。ぽつぽつ来る中、高橋さん、大型太刀魚を手中にされました。しかしながらこれは「太刀魚もどき」と言って、骨が多い亜種だったそうな（知らなかった）。

10時にはこの海域のは旨いと言われるアジ釣りに変え、楽しみました。釣果は朝方が良く、太刀魚0-3、アジは多い人で10尾前後でした。

外道では、マトウダイが出ました。宿で、ワカメ味噌汁をご馳走になってから、次回を楽しみに解散いたしました

